

# 県政活動報告

発行者/皆川いわお  
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2  
TEL 055-222-5313  
FAX 055-233-3301  
E-mail: minagawa@nns.ne.jp  
<http://www.nns.ne.jp/pri/minagawa/>  
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

## 甲府城跡が国史跡に

### 皆川いわお県議「観光拠点の整備を」

### 観光立県やまなしの、価値と魅力を高めたい

皆川いわお県議が提唱してきた「甲府城の整備事業」が、さらに、進展していく。十一月、国の文化審議会が「甲府城跡」を国史跡に指定するよう答申。今後、観光立県の中心的拠点として、どのように保存、活用、整備をしていくかに、期待が高まる。



皆川いわお県議

#### 甲府城跡が国史跡に認められた文化価値

国の文化審議会は甲府城跡を国史跡に指定するよう答申した。

皆川いわお県議はこれまで「甲府城を観光山梨の拠点」として位置づけ、周辺整備を提唱してきたが「文化・歴史的评价を得たことは意義深い。県民が郷土に誇りをもつことができる」とし、さらに「観光立県やまなしの、価値と魅力を高めたい」と展望する。

現在、甲府城周辺は、甲府駅南口広場、県庁のオープン化、甲府城南側お堀沿いエリア、中心街と結ぶ散策路など、歩行者回遊ネットワークが整備されている。「交流を広げ、賑わいを生み出したい。東京オリンピック・パラリンピックも近い」というのが皆川いわお県議の構想だ。今度の国史跡指定の答申で、さらに注目される。

#### 国史跡化のメリット ふるさと山梨の誇り

甲府城は国史跡化により、今後、国の制度のもと、文化財の適切な保存と管理が確実となり、次世代に継承されていく。

国史跡化によるメリットは多く、調査費、復元整備、活用事業に要する経費には「国庫補助金」が交付される。また、保存活用計画・活用事業の地方負担には「特別交付税」の措置がある。

甲府城跡は、一条小山と呼ばれる丘陵に築かれた近世の平山城跡。甲斐は天正一八年

(一五九〇)豊臣方の支配地となり、関東の徳川氏への抑えとして重要視され、浅野長政(ながまさ)・幸長(よしなが)親子によって、本格的な甲府城造営が進められた。慶長五年(一六〇〇)頃までに完成されたとされる。

幕府六代將軍家宣(いえのぶ)が藩主となった。その後、柳沢吉保(よしや)が甲府藩主となり、大規模な城の改修が行われた。柳沢氏の移封後は、再び幕府直轄地となり、甲府勤番支配が管理し、幕末に至った。

近世城郭としては国内最初期の城で、自然石をそのまま使用した「野面(のづら)積み石垣」が天守台を中心に遺されている。また、金箔の鯨瓦(しやちがわら)や鬼瓦を含む多数の遺物が出土している。

甲府城跡は、我が国近世の政治・軍事の歴史を知る上で貴重だ。

#### 天守閣の復元整備 県民十万人の署名

皆川いわお県議は、長年にわたり天守閣の復元整備を訴え、十万人をこえる署名とともに、県に要請をしてきた。

国では、天守閣の復元のあり方等に関する検討をはじめた。県はこれまで、県指定史跡における歴史的建造物の復元整備にあたっては、文化財の本質的な価値を次代に継承していきけるよう、史実に基づき実施している。

天守閣の復元についても、その整備根拠となる歴史的資料を収集すべく、今後も調査を継続するなかで、復元整備をするに値する資料が整えば、

天守閣の復元整備も不可能ではない、としている。



愛宕山の山裾、築城にともなう「石切場」岩に矢穴を彫り鉄のクサビを打ち込んで割る

#### 天守閣復元へ向けて 可能性をひらく

甲府城跡の魅力の向上は、国のワーキンググループの検討状況や、結果を含め、国の動向を注視しながら、図られていく。

また、国史跡化した場合「天守閣の復元はどうなるのか」という問題に、県は国史跡化によって、天守閣の復元ができなくなるものではない、指定の有無によって特段の差異は生じない、天守閣復元の可能性が低くなるものでもない、と、判断を示した。

皆川いわお県議は、すでに六月定例県議会で「天守閣整備に、知事の決断を」と、代表質問をした。



国史跡になる甲府城跡  
郷土の歴史・文化の誇りだ



築城期の石垣が残る天守閣  
自然石をそのまま使用した  
「野面(のづら)積み石垣」は貴重

#### 自然石をそのまま使用 貴重な「野面積み石垣」

関ヶ原の戦いの後は、幕府直轄となり、城番制の時期を経て、徳川綱重(つなしげ)・綱豊(つなとよ)後の江戸